

映画監督◎ガリン・ヌグロホ

『サタンジャワ』SETAN JAWA / 2016年 / 70分 / モノクロ / サイレント

音楽・音響デザイン◎森永泰弘

舞台出演◎コムアイ(水曜日のカンパネラ)、

日本・インドネシア特別編成音楽アンサンブル ほか

モノクロの神秘世界に  
漂うジャワ島のサタンが、  
立体音響のなかで  
浮かび上がる

ガリン・ヌグロホ×  
森永泰弘×  
コムアイ



ASIA IN RESONANCE  
響きあうアジア 2019

サイレント映画+立体音響コンサート

# サタンジャワ

2019.7.2 火 14:00開演 | 2回公演、各回30分前開場  
19:00開演 | ※ポストパフォーマンストーク有

## 有楽町朝日ホール

料金

4月13日(土)発売

前売: 3,000円

当日: 3,500円

25歳以下: 2,000円(当日要証明書)

A silent film with a live 3D sound concert

主催◎国際交流基金アジアセンター

共催◎公益財団法人ユニジャパン

後援◎駐日インドネシア大使館

音楽・音響製作◎concrete

制作◎(株)オカムラ&カンパニー

映画製作◎Garin Nugroho Workshop, Turning World

映画共同製作◎AsiaTOPA - Arts Centre Melbourne,

Melbourne Symphony Orchestra,

Esplanade Theatres on the Bay, Singapore

問合せ オカムラ&カンパニー

03-6804-7490

contact@setanjawa.jp

https://asia2019.jfac.jp

ASIA  
center  
JAPAN FOUNDATION



## ガリン・ヌグロホ | Garin Nugroho

監督



1961年、インドネシア、ジョグジャカルタ生まれ。90年代インドネシア映画新世代のバイオニアとして、カンヌ、ヴェネチア、ベルリンほか数多くの映画祭で上映され、多数の映画賞受賞。映画評論家、ドキュメンタリー監督として映画業界に入りインドネシアの社会問題、文化、政治をテーマに選んできた。映画以外にも演劇や美術インスタレーションも手がけるほか、2005年にはジョグジャNETPACアジア映画祭を創設。最新作『Memories of My Body』は2018年ヴェネチア国際映画祭でプレミア上映された。

## 森永泰弘 | Yasuhiro Morinaga

音楽・音響デザイン



東京藝術大学大学院を経て渡仏。帰国後は芸術・音楽人類学的な視座から世界各地をフィールドワークし、楽器や歌の初源、儀礼や祭祀のサウンドスケープ、都市や集落の環境音をフィールドレコーディングして音源や作品を発表している。東南アジアの映画・舞台芸術・展示作品等のサウンドデザインや音楽ディレクションを手掛ける。2013年音楽出版レーベルconcreteを設立し、国内外で活動している。www.the-concrete.org

## コムアイ | KOM\_I

舞台出演



アーティスト。1992年生まれ、神奈川県育ち。ホームパーティで勧誘を受け歌い始める。「水曜日のカンパネラ」のボーカルとして、国内だけでなく世界中のフェスに出演、ツアーを廻る。その土地や人々と呼応して創り上げるライブパフォーマンスは必見。好きな音楽は民族音楽とテクノ。好きな食べ物は南インド料理と果物味のガム。音楽活動の他にも、モデルや役者など様々なジャンルで活躍。2019年4月3日、屋久島とのコラボレーションをもとに制作した新EP『YAKUSHIMA TREASURE』をリリース。

www.wed-camp.com

## 『サタンジャワ』——ヌグロホ芸術の集大成にして新たなチャレンジ

石坂健治 | 日本映画大学教授 / 東京国際映画祭プログラミングディレクター

映画監督のなかにはジャンルを横断・越境して創作するタイプのアーティストたちが存在する。アジアに限れば、アピチャップポン・ウィーラセタクン、ツイ・ミンリャンらは、映画と美術・演劇といった隣接分野を自在に往還して作品を生み出す。インドネシア映画界を牽引するガリン・ヌグロホもそうした系譜に連なる一人だ。ヌグロホは、東京国際映画祭に10回を超える入選を果たし、スハルト独裁体制とその終焉後のインドネシア社会を見据える一方、早くからジャンル横断的な表現を得意としてきた。『サタンジャワ』は、軽やかにジャンルを越境するヌグロホ芸術の集大成にして新たなチャレンジともいえる注目作だ。ジャワ島の神話世界を描くモノクロ・サイレントの映像をベースに、上映=上演される国のクリエイターとタッグを組み、そのつど一期一会の劇伴を生演奏と音響設計で作らなければならないという画期的なコンセプトの本作は、映像とサウンドが積算され、圧倒的な迫力で劇場全体を包み込むだろう。気鋭のサウンドデザイナー森永泰弘が創りあげる音響空間にも期待が高まる。

## 「繋がり」の音——儀式の音へ

森永泰弘 | サウンドデザイナー・サウンドアーティスト

『サタンジャワ』はジャワ島に根付く神秘主義を軸に男女、男とサタン、女とサタンの恋愛関係を描いた作品である。映画が音と映像、スクリーンとスピーカー、登場人物と観客を繋げていくように、モノクロームで撮られた本作は、人間、動物、オブジェクトが重層的に繋がって行く。これらの繋がりをまとめあげる唯一の時空間が、儀式だと僕は考えている。この唯一の時空間から生成されゆく音—儀式の音—が、本作『サタンジャワ』で試みるサウンドデザインのコンセプトにある。ガリン・ヌグロホとは長年の友人関係であり、彼が長年耕したフィールドの地に僕は幾度も足を運び、現地の音楽家やアーティストとの交流を支えてくれたのもヌグロホであった。『サタンジャワ』のサウンド版の制作では、僕自身が見て聴いたインドネシアの音をそのまま再現するのではなく、これまでの記録・制作活動を通じて、群島国家の日本とインドネシアの異文化の繋がりを「現代」の視点から問い直すアプローチもできればと考えている。ジャワ島に根付く音楽、神話、舞踊も、長い歴史の中で変化し、違う島に渡りながら新しい伝統として誕生してきた。本公演ではジャワに固有することなく、その周縁文化の音が映画を通じて繋がりあう瞬間を各々の視点で体験してもらいたい。

# SETAN JAWA

A silent film  
with a live  
3D sound concert



### チケット取扱い

- ・チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (Pコード: 148522)
- ・e+ (イープラス) <http://eplus.jp>
- ・Peatix (ピーティックス) <https://setanjawa.peatix.com>

### 会場

有楽町朝日ホール  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F  
Tel 03-3284-0131  
JR有楽町駅中央口 / 東京メトロ有楽町駅D7出口 /  
東京メトロ銀座駅(丸ノ内線・銀座線・日比谷線) C4出口 徒歩2分

- 未就学児のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情により、プログラムや出演者が一部変更になる場合がございます。
- 車イス等でお越しの方は事前に03-6804-7490(オカムラ&カンパニー)までご連絡ください。

### 関連企画

## 響きあうアジア2019 東南アジア映画の巨匠たち

7月3日(水)シンポジウム | 東京芸術劇場 ギャラリー1

7月4日(木)~10日(水)映画上映 | 有楽町スバル座

『サタンジャワ』のガリン・ヌグロホ監督をはじめ、東南アジア映画界を牽引し、世界的に活躍する巨匠が一同に会する貴重な特集上映&シンポジウムを実施。上映作品、スケジュール、チケット情報等詳細は2019年5月下旬頃「響きあうアジア2019」公式サイトにて発表。 <https://asia2019.jfac.jp>